

# 事務事業評価シート

H27(標準事業)

① 基本事項	計画コード	事業名	部名	教育委員会事務局
	19100-1	青少年総合支援センター費	室名	生涯学習室
	基本施策の大綱	05:次世代を担う人づくりと歴史文化の振興	財 会計	一般会計
	基本施策	01:子どもたちの学びと健全育成	務 款	教育費
施策体系	施策の方向	07:青少年の健全育成と青少年活動の促進	科 項	青少年対策費
	戦略プロジェクト		目 目	青少年対策費

② 目的・概要	対象	青少年
	目的	青少年に関する諸施策を総合的に調整し、その活動を推進すると共に、青少年の生活実態を把握しつつ、非行化を防止し、健全な育成を図ることを目的とする。
概要	青少年の非行防止・自立支援に必要な業務を行うため、昼夜間(2班編成)の街頭補導活動、環境浄化パトロールの実施(補導員1日5名体制)、青少年育成市民会議非行防止部会(100名)及び各地区補導委員(50名)との合同パトロールなどを実施する。	

		27年度	28年度
①	名称	センター周知のための広報活動回数	計画値
	補足	広報やパンフレット等によりセンターの認知度上げる。	実績値
		単位	回
②	名称	相談件数	計画値
	補足	ノートやひきこもりなどの青少年の悩み相談等	実績値
		単位	回
③	名称		計画値
	補足		実績値
		単位	
④	名称		計画値
	補足		実績値
		単位	

年度計画				年度実績		
④ 事業の計画・実績				補導業務については、特別補導(各地区の補導委員とセンター職員が一緒にパトロールする。)について昼間のパトロールを追加し、年間昼間1回、夜間2回の特別補導を実施した。また、事業仕分の結果を受けて、青少年総合支援センターのパトロール業務よりも自立支援に向けた取り組みを重視するべきとの指摘を受けたため、今後の在り方を見据えて、その取りかかりとして地域との連携の在り方について模索した。		
	事業費	計画額	予算額	決算額	人件費	総人件費 ① 3,034
	国庫支出金				一般職員人件費 ②	3,034 平均給与額×③
	県支出金				所要人員 ③	0.40
	地方債				臨時職員人件費 ④	
	その他				受益者負担額 ⑤	
	一般財源		13,645	13,023	受益者負担率	0.0% ⑤ / ⑥
	再掲	翌年度への繰越額				
		前年度からの繰越額				
		総人件費		①	3,034	
	総コスト		⑥	16,057		

⑤ 事業の評価	【事業の成果】	平成26年度末から、通常のパトロール時について、声かけを行った場所、時間、人数等、コミュニティなどへの立ち寄り、地域の関係者とのコンタクトについてをデータとして蓄積しており、これを継続して地域との連携を図るとともに、執務日誌などにより職員・関係部署との共有化を行なった。	総合判定	<b>B</b>
	【反省点・課題】	パトロールにより、青少年健全育成及び犯罪抑止の効果は出ていると考えられる。しかしながら、今後の在り方を踏まえて実効性を可視化させる必要がある。また、「地域の青少年は地域で見守る」という考え方の共有化のために、青少年に関する情報や地域・関係機関との連携を深めるとともに、タイムスケジュールも合わせて今後の方向性決定を可視化する必要がある。	まずまず進んだ	
	【改善の方向性】	地域連携に基づくデータをもとに、第2次総合計画・生涯学習計画において亀山市青少年総合支援センターの方向性の検討を位置づけるとともに、まちづくり協議会のあり方の中で方向性を共有していく。		
事業目的の妥当性: 適切		有効性: 適切	最終評価確認者: 生涯学習室長 亀山 隆	